

## コアジサシなど裸地を利用する鳥類への配慮について

夢洲の会場整備にあたり、コアジサシや裸地（砂れき地等）を利用する鳥類への配慮として、次のとおり可能な限り鳥類の生息環境に配慮するよう努めます。

2024 年度から 2026 年度の間、コアジサシや裸地（砂れき地等）を利用する鳥類が利用可能な場所について、図 1 に候補地を、図 2 にスケジュールを示します。

- **会場予定地外**では、夢洲 1 区内水面の西側の区域（図 1 の①）を候補地とし、コアジサシの要対応時期（4 月から 8 月中旬）となる前に草刈りを行い、裸地の形成に努めるとともに、当該区域での鳥類の利用状況の調査も実施します。  
また、「コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針（環境省）」等を参考に、コアジサシの誘引策として、草刈り後の裸地にデコイを設置します。
- **会場予定地内**では、建設工事の本格化に伴い、大阪・関西万博の会期終了後までは、裸地として平面利用が可能な場所はありません。  
なお、会期終了後、解体工事に移行し、会場内に更地区域が増加した際は、平面利用が可能となる場所として適宜状況を確認し、裸地を利用する鳥類が利用可能となる候補地の検討に努めます。  
引き続き、関係者等と調整を行い、会場予定地内外での確保等に努め、可能な限り鳥類の生息環境に配慮していきます。

また、各工事区域の統括施工管理者に対して、会場予定地内でコアジサシの飛来等が確認された場合は、「コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針（環境省）」に基づいた対応を周知しております。

水辺（開放水面・水際部）を利用する鳥類への配慮については、つながりの海への海水の引き入れが開始されるまでの間は、沈殿池（図 1 の②）が候補地となりますが、開催中の候補地は、関係者等と調整のうえ、適宜ホームページ等で情報発信します。

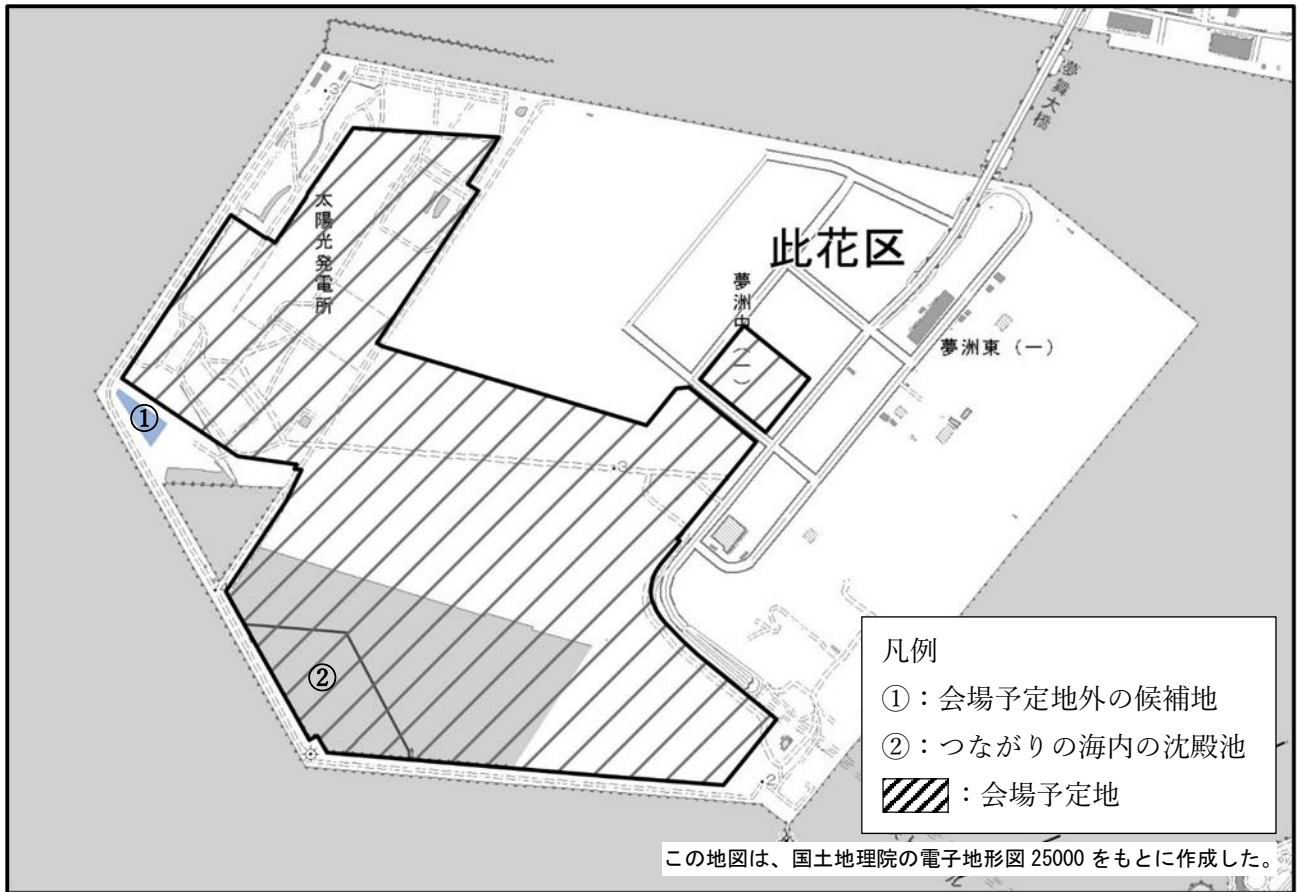


図1 裸地を利用する鳥類の利用可能な候補地（2024～2026年度）

場 所	2024（令和6）年度	2025（令和7）年度	2026（令和8）年度
コアサシ 要対応時期 （4月～8月中頃）	繁殖期	繁殖期	繁殖期
会場予定地内 （会期終了後まで裸地等 の候補地なし）	建設工事等	大阪・関西万博 開催	解体工事等 （更地区域より利用検討）
会場予定地外 の候補地① （裸地（砂れき地）等）	利用可能		
	草刈り等		草刈り等
			埋立施設

図2 裸地を利用する鳥類が利用可能な候補地スケジュール（2024～2026年度）